

課・タイトル	L15 あやまる
ねらい	日常生活の中で、失敗をしてしまったときに、失敗をしてしまった状況を簡単に伝えて、謝ることができる。

パート	L15-1 こわして しまって、すみません
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・よくないことをしたときに、ていねいに謝ることができる。 ・簡単に事情を説明することができる。
場面設定	学校の教室で学生のタンさんとラマさんがサッカーボールを蹴って遊んでいたところ、ラマさんが蹴ったボールが壁掛け時計にあたって、時計が落ちて壊れてしまいました。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>指導のポイント</p> <p>話したいことがあるとき、相手に声をかけ、相手の都合を聞いてから話をする、という話の始め方を練習します。</p> <p>まず失敗したことを言って謝り、その後事情を説明し、最後にもう一度謝るという流れで謝っています。</p> <p>「失敗をした、よくなかった」という気持ちを表す「動詞て形+しまいます」という形は、謝るときによく使われる文型です。「動詞て形+しまいます」には他に完了を表す使い方もありますが、ここでは練習しません。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>とけいをこわしてしまいました とけいにあててしまったんです しゅくだいをわすれてしまいました のことばカード</p> <p>～てしまいます の文型カード</p> <p>基本動詞て形のフラッシュカード数組 * 基本動詞は「L7_授業のヒント」に記載</p> <p>たべます</p> <p>たべて</p> <p>「～てしまいます」</p> <p>テキスト p.314①</p> <p>場面会話の3コマ目、4コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「とけいをこわしてしまいました」「とけいにあててしまったんです」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声聞いてリピートさせ、セリフを見せます。「しゅくだいをわすれてしまいました」に注目させ、ことばカードを貼ります。失敗したことを「動詞て形+しまいました」という形で表していることを確認し、「～てしまいます」の文型カードを貼ります。基本動詞て形のフラッシュカードを使って、動詞ます形を「動詞て形+しまいました」に言いかえる練習をクラス全体でした後、学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで練習させます。続いて、1)～3)の絵を見せて、代入練習をさせます。</p>

練習2

用意するもの

おいそがしければ、またあとで来ます	おいそがしくなければ、今話したいです
-------------------	--------------------

やすければ、買います	やすくなければ、買いません
------------	---------------

べんりなら、買います	べんりじゃなければ、買いません
------------	-----------------

やすみなら、行きます	やすみじゃなければ、行きません
------------	-----------------

 のことばカード

～ければ、～	～なら、～	～なければ、～	～じゃなければ、～
--------	-------	---------	-----------

 の文型カード

基本い形容詞仮定形のフラッシュカード数組 * 基本い形容詞は「L8_授業のヒント」に記載

あつい
あつければ

基本い形容詞否定の仮定形のフラッシュカード数組 * 基本い形容詞は「L8_授業のヒント」に記載

あつくない
あつくなければ

基本な形容詞仮定形のフラッシュカード数組 * 基本な形容詞は「L8_授業のヒント」に記載

げんき
げんきなら

基本な形容詞否定の仮定形フラッシュカード数組 * 基本な形容詞は「L8_授業のヒント」に記載

げんきじゃない
げんきじゃなければ

い形容詞仮定形の作り方

テキスト p.3152①

場面会話2コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「おいそがしければ、またあとで来ます」に注目させ、ことばカードを貼ります。「おいそがしい」の意味は「いそがしい」と同じであること、相手が先生なので「おいそがしい」と言っていることを伝えます。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせ、「やすければ、買います」に注目させ、ことばカードを貼ります。

「おいそがしければ、また来ます」のことばカードを示しながら、「先生、今いそがしいですか。いそがしくないですか」と先生に聞く動作をし、「いそがしい」「いそがしくない」と板書します。そして、「おいそがしければ、また来ます」と言いながら、「いそがしい→また来ます」と書き加えます。その後、「いそがしくない、は？」と学習者に問いかけながら、「いそがしくない→また来ます」と書き、「また来ます」の上に×を書き、「おいそがしくなければ、今話したいです」と言います。続いて、①の「やすければ、買います」のことばカードを示して、同様の説明をします。「おいそがしければ、また来ます」は、「忙しければ後から来るが、忙しなくなければ、今話したいです」という意味で、「やすければ、買います」は「安ければ買うが、安くなければ買いません」という意味でもあることを確認します。

い形容詞「～い」が「～ければ」に活用していることを確認し、い形容詞仮定形のフラッシュカードを使って、い形容詞「～い」から「～ければ」に活用させる練習をします。「いい」が「よければ」になることを確認します。また、希望を表す「～たい」がい形容詞同様に「～たければ」に、「～たくない」が「～たくなければ」に

	<p>なることにも注目させます。その後、「行きたい」「帰りたい」「休みたい」「飲みたい」「食べたい」「見たい」「したい」など学習者から「～たい」の語例を出させて、他の学習者に「～たければ」に活用させて、練習させます。続いて、学習者を4、5人のグループにして、フラッシュカードを配布し、グループで活用の練習をさせます。次に、い形容詞否定形「～くない」が「～くなければ」になることを示し、い形容詞否定の仮定形のフラッシュカードを使って、活用の練習をさせます。活用ができるようになったら、1)～3)の代入練習をし、「～ければ、～」「～くなければ、～」の文型カードを貼ります。</p> <p>な形容詞仮定形、名詞仮定形の作り方</p> <p>テキスト p.315②①</p> <p>①の4)の絵を見せて、「べんり」の仮定形は「べんりなら」になることを示し、「べんりなら、買います。」「べんりじゃなければ、買いません」のことはカードを貼ります。①の「やすければ、買います」と同様の説明をして、「便利なら買うが、便利じゃなければ買わない」という意味であることを確認します。続いて、「友だちが週末遊びに行こうと言いました。アルバイトが休みなら、遊びに行きますが、休みじゃなければ、行きません」と言って、「やすみなら、行きます」「やすみじゃなければ、行きません」のことはカードを貼ります。な形容詞と名詞は同じように、「～なら」「～じゃなければ」という形になることを確認します。</p> <p>その後、な形容詞仮定形のフラッシュカード、な形容詞否定の仮定形のフラッシュカードを使って活用練習をします。それぞれ、クラス全体で練習した後、学習者を4、5人のグループにして、グループにフラッシュカードを配布し、グループで活用練習をさせます。続いて、名詞仮定形のフラッシュカード、名詞否定の仮定形のフラッシュカードを使って、な形容詞と同様に活用練習をし、「～なら、～」「～じゃなければ、～」の文型カードを貼ります。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>かばん、箱</p> <p>できますか？</p> <p>学生のキムさんは、アルバイトの店に行って、ロッカーを開けようとして、カギがないことに気づきました。鞆もポケットも、店の落し物の箱も見ましたが、ありません。そこで、店長にカギをなくしてしまったこと、探したがないことを伝えて、謝ります。</p> <p>じゆうにはなしましょう</p> <p>会社やアルバイト先などで、失敗をして謝ります。学習者を2人組にして会話を考えさせて、発表させてください。</p>

パート	L15-2 ごめんなさい
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちに謝ることができる。 ・友だちに簡単に事情を説明することができる。
場面設定	学生のキムさんは、クラスメートのラマさんに借りた本を汚してしまい、ラマさんに謝ります。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>本</p>

	<p>指導のポイント</p> <p>まず先に謝り、その後何をしてしまったかを言い、その後で事情を説明する、その後でもう一度謝る、という話の進め方をしています。言い訳をしないで謝っている点に注目させます。</p> <p>3コマ目は、最後まで言わないで、言いよぶことで申し訳ない気持ちを伝えようとしています。</p> <p>友だち同士では、「すみません。」と言わないで、「ごめんなさい。」と言っていることにも注目させます。</p>
練習1	<p>用意するもの</p> <p>かりた本、よごしちゃった アイスクリームをおとしちゃった</p> <p>カメラをこわしてしまいました カメラ、こわしちゃった</p> <p>すみません ごめんなさい のことばカード</p> <p>～ちゃった の文型カード</p> <p>基本動詞[～ちゃった]のフラッシュカード数組</p> <p>たべてしまいました</p> <p>たべちゃった</p> <p>カメラ、教科書、紙コップ2つ</p> <p>「～ちゃった」</p> <p>テキスト p.320①</p> <p>場面会話の2コマ目、4コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「かりた本、よごしちゃった」「アイスクリームをおとしちゃった」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、左が同僚同士、右が友だち同士であることを確認させます。モデル会話を聞かせて、リピートさせ、「カメラをこわしてしまいました」が「カメラ、こわしちゃった」と短くなっていることに注目させ、それぞれことばカードを貼ります。「～てしまいました」が「～ちゃった」になっていることを確認し、「～ちゃった」の文型カードを貼ります。動詞「～ちゃった」のフラッシュカードを使って言いかえをさせた後、学習者を4、5人のグループにして、フラッシュカードを配布して、グループで練習させます。</p> <p>続いて、1)～3)の絵を見て、代入練習をさせます。1)では、教科書を見せて謝ります。</p> <p>テキスト p.320②③</p> <p>③では、体調の悪い人に「おだいじに」と言うことにも注目させます。</p>
練習2	<p>用意するもの</p> <p>アイスクリームを食べながら読んでいて… テレビを見ながらしゅじをします のことばカード</p> <p>～ながら～ の文型カード</p> <p>スマホ</p> <p>「～ながら、～」</p> <p>テキスト p.321①</p> <p>場面会話の3コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「アイスクリームを食べながら読んでいて…」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①の絵を見せて、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。「テレビを見ながらしゅじをします」に注目させ、ことばカードを貼ります。ことばカードを見て、二つの動</p>

	<p>作を同時に行っていることを確認します。「～ながら～」の文型カードを貼ります。</p> <p>続いて、1)2)の代入練習をします。それぞれ、学習者自身はどのように食事をしたり勉強したりしているかを聞き、意味が理解できていることを確認します。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>ノート 2冊</p> <p>できますか？</p> <p>学生のタンさんがクラスメートのマリーさんに声をかけて、「ごめんなさい。」と言います。マリーさんがどうしたのか聞くと、タンさんは、マリーさんに借りたノートを汚してしまったと言います。マリーさんがよくわからない様子なので、タンさんはコーヒーを飲みながら勉強していて、コーヒーをこぼしてしまったんだと伝え、汚れたノートを見せます。マリーさんはノートがひどく汚れているのを見て驚きます。タンさんはお詫びに新しいノートを用意していて、それをマリーさんに渡します。</p> <p>じゆうにはなしましょう</p> <p>友だちに謝ります。学習者を2人組にして、自由に会話を考えさせて、発表させてください。必要なものがあれば準備するよう、学習者に伝えます。</p>

アクティビティ —	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>かんがえましょう</p> <p>p.324 の絵を見せて、どんな場面かを2、3人のグループで考えさせます。上の絵は、友だちと待ち合わせをしたのに、忘れてしまい、テレビを見ているときに電話がかかってきて謝ります。その後、急いで待ち合わせ場所に行き、謝りながら、お詫びに飲み物をごちそうしていることを確認します。下の絵は、職場でお茶を飲んでいて、それをこぼして同僚の書類を汚してしまい、その場ですぐ謝りました。翌日いつも通り仕事をしていますが、同僚の表情がよくないことを確認します。その後、学習者を4人組にして、会話を考えさせます。失敗をした次の日、自分ならどうするかを話し合わせます。</p> <p>はなしましょう</p> <p>(1)～(4)の絵を見て、どんなことが起こったかを確認します。</p> <p>(1)学校で、先生がAさんに、作文の宿題があることをBさんに伝えてほしいと頼みました。翌日、先生がBさんに作文を提出するように言いましたが、Bさんが何のことかわからない様子を見て、Aさんは自分がBさんに伝えるのを忘れたことに気づきます。</p> <p>(2)店で商品を見ているときに、かばんがぶつかって、店の商品である写真立てを落としてしまい、写真立てが壊れてしまいました。</p> <p>(3)会社で課長にレポートを出しました。その後、課長が来て、間違っているとしました。</p> <p>(4)友だちと電話で約束をしましたが、電話を切ってから、その日はアルバイトがあることに気づきました。</p> <p>学習者を4人組にして、(1)～(4)のケースについて、この後どうするかを話し合わせ、会話を考えさせ、発</p>
---------------------	---

	表させます。一つのケースごとに発表して、グループによって対応が異なるか、あるいは同じか、どうしてそうするのかなどを話し合います。
よみましょう	指導のポイント お詫びのメールです。メールを書いたジョンさんの心情を読み取ることが課題です。
かきましょう	指導のポイント 書いた後、クラスで発表させ、お詫びの気持ちが伝わるかどうか、意見交換をさせるといいでしょう。